

■令和7年度使用 中学校（特別支援学校の中学部を含む）用教科用図書の調査研究資料 ～全教科共通～

調査項目	着眼点	調査内容	「調査項目」、「着眼点」の根拠
1 学習指導要領 (平成29年告示)	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識及び技能」の習得、「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養）をバランスよく育成 (2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性 (3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	<ul style="list-style-type: none"> どのような学習内容や学習活動が取り上げられ、程度や分量はどのようなものであるか。 上記の学習内容や学習活動に取り組む上で、どのような構成・配列上の特徴があるか。 	(1) 中学校学習指導要領解説総則編（P35） 各教科等の指導を通して育成を目指す資質・能力の観点 ①知識及び技能の習得 ②思考力、判断力、表現力等の育成 ③学びに向かう力、人間性等の涵養 (2) 中学校学習指導要領解説総則編（P49） 各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図ること (3) 中学校学習指導要領解説総則編（P7） 資質・能力の育成を目指し「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めること
2 第4次岐阜県教育振興基本計画 (令和6年3月策定) [2024(R6)年度～2028(R10)年度]	(1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 (2) 生徒の学習改善や教職員の指導改善につながる学習評価 (3) ICTを活用した学習活動	<ul style="list-style-type: none"> 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に資する内容が、どのように取り上げられ、どのような構成・配列上の特徴があるか。 学習改善や指導改善につながる学習評価の場面や方法等について、どのように取り上げられ、どのような構成・配列上の特徴があるか。 ICTを活用した学習活動等の充実が、どのように取り上げられ、どのような構成・配列上の特徴があるか。 	第4次岐阜県教育振興基本計画（P6） <u>施策Ⅱ</u> 「未来を創る確かな学力と実践力」の育成 (1) Ⅱ-8 未来を創る基礎となり、社会で生きる学力の育成：「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（P26） (2) Ⅱ-8 未来を創る基礎となり、社会で生きる学力の育成：教職員の指導改善・児童生徒の学習改善につながる学習評価の充実（P26） (3) Ⅱ-9 ICTを利活用できる力の育成：資質・能力の育成に寄与するICTの効果的な活用（P29）
3 印刷・製本等	(1) 教科書の厚み、重量 (2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等 (3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の総ページ数（厚み）、重量はどのようなものであるか。 障がいなどの特性の有無にかかわらず、児童に読みやすいものになっているか（UDフォント、配色、レイアウト等）。また、印刷の状況（鮮明度、美しさ）はどうか。 目次、索引、注、凡例、巻末資料等には、どのような特徴があるか。 	